

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名【新】森林境界明確化支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111(内4387)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,500 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,500	0	0	0	0	0	3,500	0	0
決定額	2,450	0	0	0	0	0	2,450	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

森林境界の明確化は森林整備や木材生産、路網の開設に当たり不可欠な作業であり、県では林業事業体による森林境界の明確化作業を国庫補助金を活用して支援しているが、これまでに明確化された森林は37千haで、近年の実施面積は1200ha/年程度となっている。

一方、周辺と一体的な森林であっても、地域森林計画対象外森林は既存事業の対象となっておらず、境界明確化が進んでいない。

また、相続の未登記や地元に住居していない所有者の増加により、所有者の探索に多大な手間と時間を要し、既存事業による調査の結果、単年度では境界や所有者を調査しきれず、不明確地が発生している。

そこで、既存事業の対象とならない森林において、森林境界の明確化に要する経費を支援することにより、境界明確化を一層促進し、森林整備の推進と計画的・安定的な木材生産を図る。

(2) 事業内容

(ア) 事業目的・事業効果

林業事業体による木材境界明確化を一層促進し、森林整備の推進と計画的・安定的な木材生産を図る。

(イ) 内容

既存事業の対象とならない森林において、境界明確化に要す経費を支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県1/4以内

森林境界の明確化は、県が目標とする間伐実施面積9,600ha、木材生産量65万m³の達成に向けて必要な取り組みであり、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

有（森林整備地域活動支援事業費補助金）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,500	
合計	3,500	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

2 林業・木材産業の振興

(2) DXの推進による林業・木材産業改革

(イ) 木材の安定供給と森林所有者への利益還元

(2) 国・他県の状況

林野庁において、森林情報の収集、境界の測量に要する経費を支援しており、各都道府県が活用している。

(3) 後年度の財政負担

令和7年度以降も森林境界明確化の促進のため支援を継続予定

(4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：森林境界明確化に取り組む林業事業者等

2) 妥当性：森林境界明確化に積極的に取り組む意欲のある者であり、事業主体として適当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	森林境界明確化支援事業費補助金
補助事業者（団体）	補助事業者：市町村（間接補助方式） 事業実施主体：森林境界明確化に取り組む林業事業者等 （理由） 森林境界明確化に積極的に取り組む意欲のある者であり、事業主体として適当
補助事業の概要	（目的） 森林境界明確化を一層促進し、森林整備の推進と計画的・安定的な木材生産を図る。 （内容） 森林境界の明確化に要する経費を支援する。
補助率・補助単価等	定率 （内容） 1 / 4 以内 （理由） 森林境界の明確化は、第4期岐阜県森林づくり基本計画に掲げる目標の達成に向けて必要な取り組みであり、県の負担は妥当である。
補助効果	・ 森林整備の推進、計画的・安定的な木材生産 ・ 公共事業の円滑な実施、災害発生時の早期復旧
終期の設定	終期令和8年度 （理由） 第4期岐阜県森林づくり基本計画期間

(事業目標)

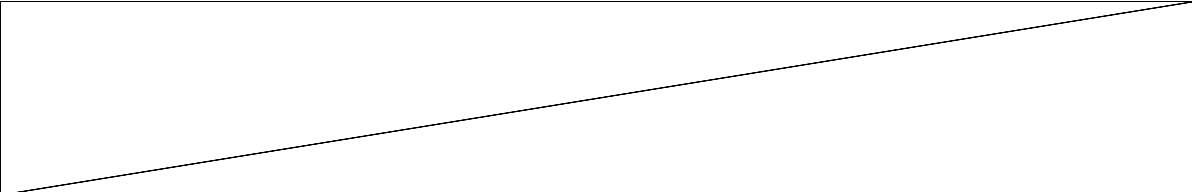
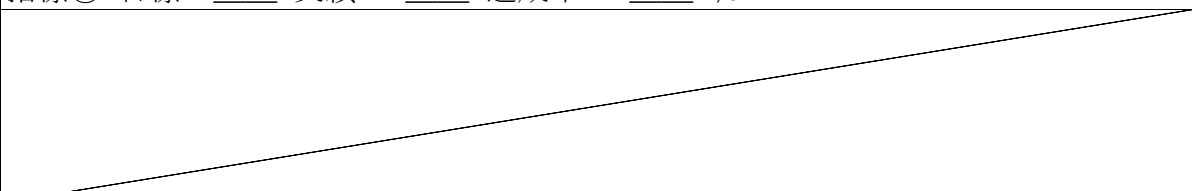
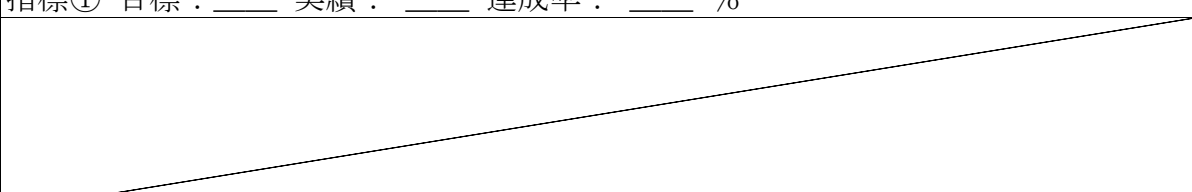
<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>林業事業者による森林境界明確化を促進し、第4期岐阜県森林づくり基本計画終了年度の令和8年度に、間伐実施面積9,600ha、木材生産量65万m³を実現する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

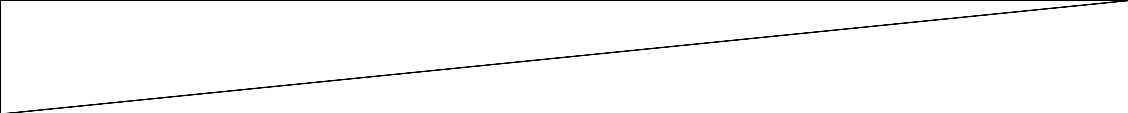
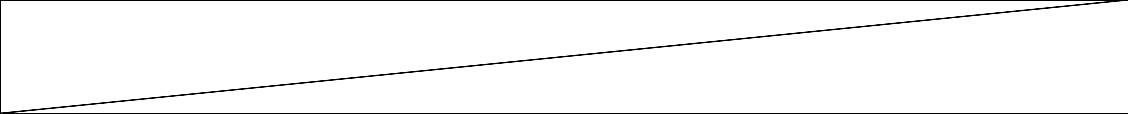
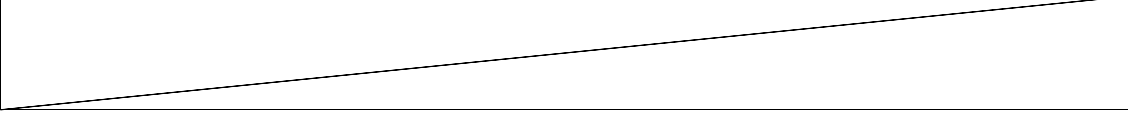
指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①間伐実施面積 (ha)	6,153	6,153	9,600	9,600	9,600	64%
②木材生産量 (千m ³)	575	575	612	624	650	88%

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	-	-	-

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 森林境界の明確化が十分に進んでいないことにより、路網開設や森林整備、山地災害発生時の早期復旧に支障をきたす場合がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 森林境界明確化の一層の促進に向け、今後も支援を継続する。
--

